

本草圖譜

果類

自七十五至七十六

太政官文庫			
八	三	四	和書門
二	八	四	類
冊	架	函	號

內閣文庫			
九	三	四	和書
冊	架	函	號
二	八	四	類

內閣文庫	
番號	和 8344
冊數	28 (28)
函號	196 191



A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19

Kodak Gray Scale



© Kodak, 2007 TM: Kodak



本草圖譜卷之七十五目錄

果部 水果類

一種

白芍藥

一

同

滿開

二

一種

湘妃蓮

三

一種

天竺白蓮

四

一種

白芍藥蓮

五

一種

白芍藥蓮

一種

白芍藥蓮

六

一種

西湖蓮

一種

廬山白蓮

七

一種

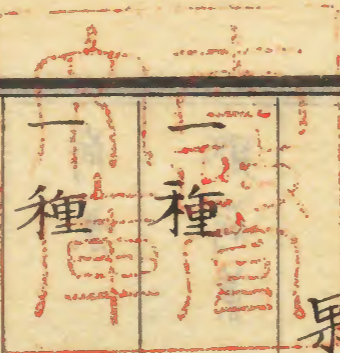
萬葉蓮

一種

白碧臺蓮

一種

每葉蓮



本草綱目卷之七十五目錄

一種	大和錦	九	一種	茶碗蓮	十
一種	君子小蓮		一種	茶碗蓮	
一種	通絲紅蓮	土	一種	雙頭蓮	
一種	雙臺蓮		蓮房		十三
荷葉		十四	荷鼻		
敗荷葉		十五	衰荷		

本草圖譜卷之七十五

果部

水果類

東都
男
門人

岩崎常正著
岩崎信正
小山廣孝校

一種

白芍薬蓮

白川候蓮譜の図
 花豊やくて辨四一
 満開も時々芍薬
 の如し花の平葉
 ありと亦芍薬牡丹
 等の裏小葉あり

本草圖



本草図譜

卷之七十五

農務局書種場

前条満開の圖



一種

湘妃蓮

自園に栽る所の物
花の形芍薬に似て
外瓣大小内瓣細し
白色に微し青あり



一種

天竺白蓮

白川候蓮譜
の圖花の形芍
葉に似て内の辨
外の辨共少夫り
白色に微一黄し
あり



一種

白芍薬
蓮

円上の図
花形前小似て内の細辨
前糸より大く白色より
外青内黄あり



一種

白
万々
蓮



日上の図花形前糸
ハ似て白色ハ内外共
ハ黄色ヲ帯了

一種

白万々蓮

日上の図花形芍薬
ハ似て瓣の先内々外青
色内黄色を帯了実
の形尋常の物と異なり
突ハ房の外ハ出たり



本草図譜 卷之七十五 五 農務局育種場

一種

西湖蓮

月上の圓花形天
坐白蓮に似て白色
の内黄色外青色
を帯了、実の前条
に似て房の外にあり



一種

廬山
白蓮



月上の圓花形
白方ニ蓮に似
て内黄色外青
色を帯了

一種

萬葉蓮

同上の圖
花形前糸
に似て白色
十四外共小
青色を帯
了



萬葉蓮

一種

白碧臺蓮

同上の圖花
形西湖蓮に
似て淡青を
帯了実の房
の外に出る菊
花に似たり



一種 每葉蓮

志村氏の図 全株小蓮の類やしく花の形尋常の物小似て淡紅色あり花葉の莖の本は淡紅を帯了



本草区説

農務局育種場

一種

大和錦

白川候蓮譜
の図花小く茶
碗にその類を
辨し四くあつて淡
紅色の實の小さく房
中三四顆あり



一種 君子小蓮

同上の図花形色
より前条に似たり

一種 茶抗蓮

同上の図
花小く瓣
の数少く先
尖り淡紅色を
實の三四顆を
結了花の本
は緑色の帯
了



一種

茶碗蓮

志村氏力四花葉とて
小く葉の裏淡紫色花
辨四く淡紅色也



一種

通絲紅蓮

白川候蓮譜
の四花葉とて
小く辨細く淡紅
色本々微し青色
を帯了芍薬に似
て青紫色の帯
了



一種

雙頭蓮

志村氏の園書に武州草賀の先加茂の民家の池中小産に
とくく)花葉とも小く花の形
尋常の品に似一茎に二花並に生
淡紅色なり



一種

雙臺蓮



同上の図同書小寛政
 十年谷中三崎法住寺の
 池中少産りとつる花形
 前条と同し

蓮房

全

房

名物
方法

同上の四蓮の案
 の入り方蜂の巣の
 如き物



荷葉

ろくろのこ

菡山の説ハ初生の小葉をぎふと云ふれを荷錢名と云其次小出つる
 葉ハ稍大なり水面に浮みおろりると云ふれを藕荷名と云其次小出る
 葉ハ莖長くして水上に出ると云ふれを菱荷名と云是ハ藕の
 節ハ兩對して莖を出れ其一ハ葉其一ハ花ありと云ふ

荷鼻

その葉の正甲莖の洫と云ふあり





蓮葉

蓮葉

蓮葉



敗荷葉附

志村氏の圖 秋月
至羊盛羊衰多物
あり

本草綱目

卷之七十一

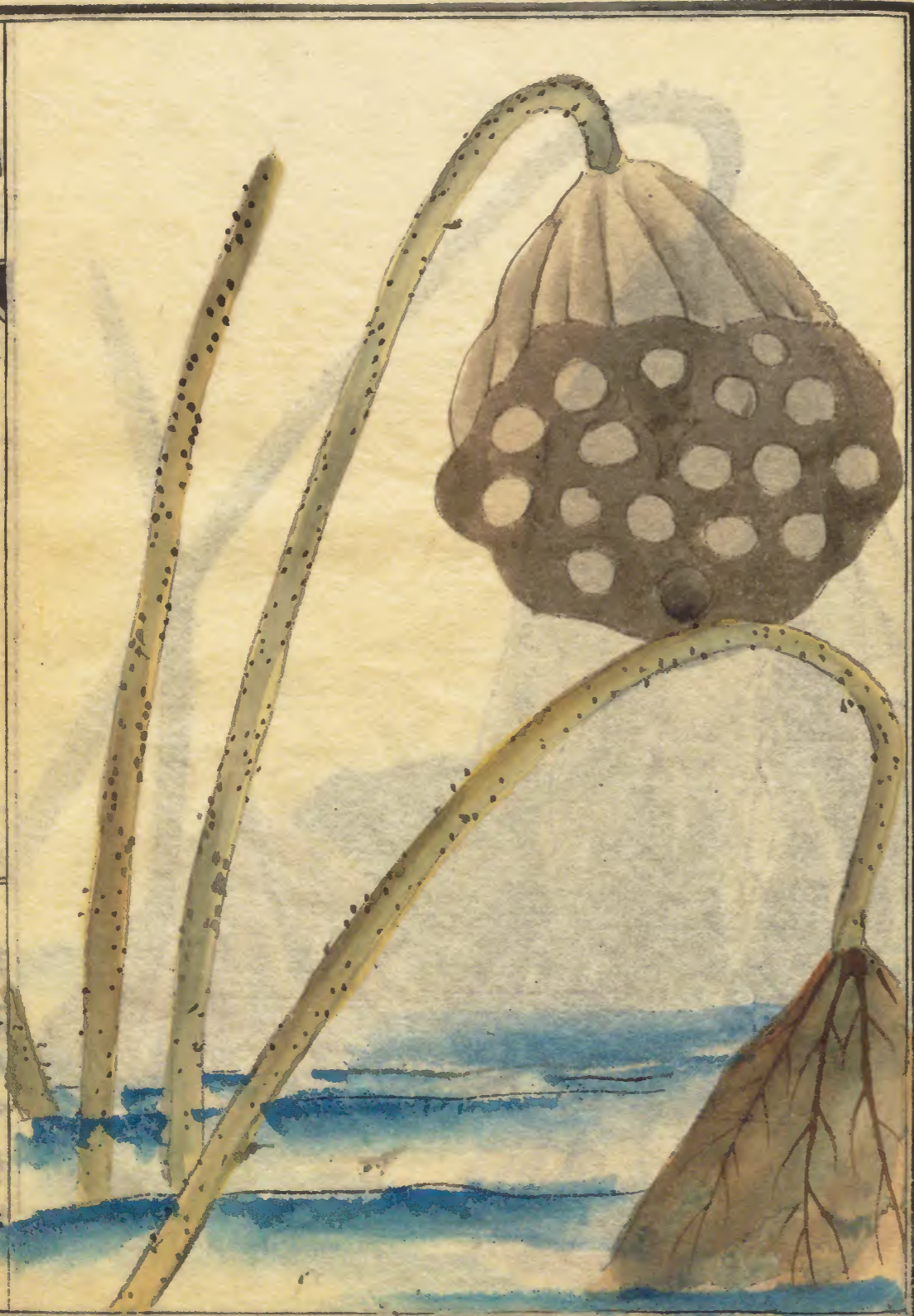
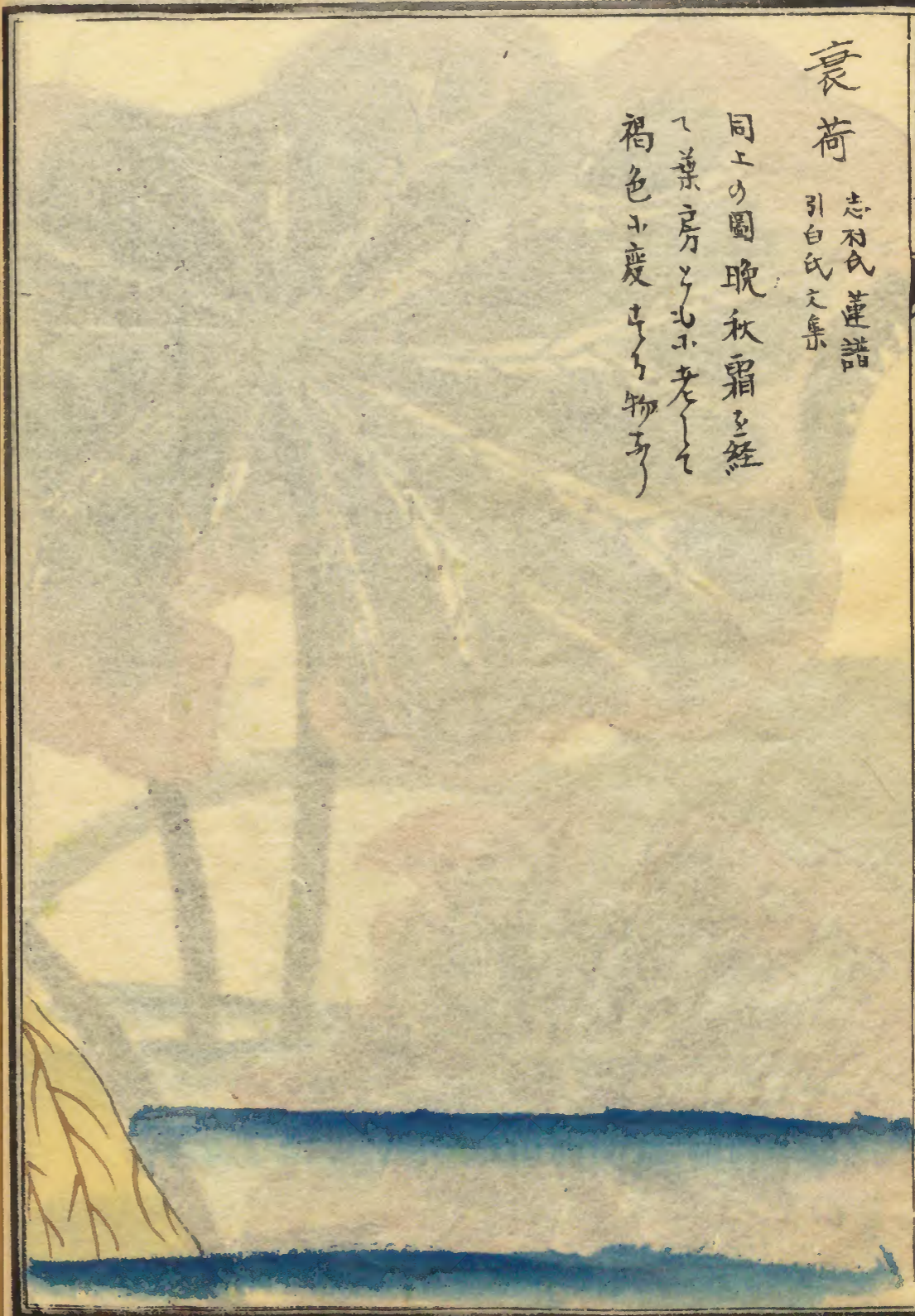
九

農務居書

衰荷

志和氏蓮譜
引白氏文集

同上の圖 晚秋霜を經
て葉房ともふ老々々
褐色に度々々物あり





本草綱目卷之七十五
農務居種場



本草圖譜卷之七十六目錄

果部 水果類

一種	野葱姑 しつひ	十一	一種	八重おんじか	土
一種	葱姑 しつひ	七	一種	吸田おんじか	九
一種	芡實 あまきん	五	一種	烏芋 くろくま	六
一種	一種 かつかん	三	一種	一種 おんじか	四
一種	一種 あまきん	三	一種	一種 おんじか	三
一種	芡實 あまきん	一	一種	一種 おんじか	二

一種

くわじ

工

附録諸果

津符子

未詳

甘釵子

おらんたご

海楮子

未詳

同

物印に載る所の物四種

羅晃子

未詳

天編子

未詳

必思荅

未詳

揚搖子

未詳

木竹子

ほとり

檜罌子

未詳

榷子

物印に載る所の物

十五

白綠干

未詳

繫彌子

未詳

人面子

未詳

黃皮果

未詳

四味果

未詳

千歲子

未詳

候豎子

未詳

酒杯藤子

未詳

蔞子

物印に載る所の物

十六

山東

未詳

隈支

未詳

靈林上果子

十七

...
...
...
...
...
...
...
...
...
...

本草圖譜卷之七十六

東都 岩寄常正著
 男 岩崎信正
 門人 小山廣孝校

果部 水果類

芡 寶 心
ウアトルノテン和蘭
 芡 本草和名
引兼名元
 蕨 蕨菜 猪鼻
ナリヒエリニ
荀羅
 菱 角
救荒本草
 水栗 薺若
共日
 穿萍
名物
 舍利虎叱迦
法言
 水栗 珍玳考引
武陵記

所々湖水中に生じ水底に菱角あり初夏苗お生
 葉水面に浮く葉三角なり浅鋸齒あり莖は肥し
 始の腹小似て夏月葉間を黄白花を開く葉下にお実
 と結ぶ形蕨葉に似て大なり兩角あり刺あり嫩緑
 老黒形又身の飛ぶに似たり其殼硬く厚く中
 小白色の肉あり食ふに菱の殼を焼くもよいし
 灰とす火いけの上品なり

本草図説卷之七十六



本草図説 卷之七十六 農務局 育種場

一種

ひめび

種尾州より来る葉の形小く小白花を開く葉の間小実を結ぶ四稜やゝ刺あり大指の頭如し

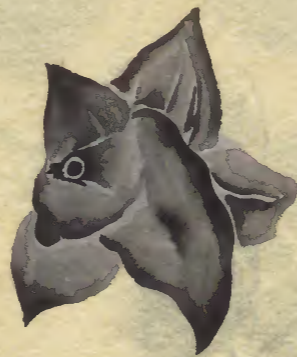


一種

をみぢし

をところむし

葉の形皆同く実四角より江戸不忍池に多し



一種

あまぐさ

実の形堅一寸餘横二寸餘形扁端の飛如く褐色にて條あり



一種

わらわらし

葉の形同く其実刺多く疵あり其疵或は四或は八形状一より多し多く乾しを根つけり用り



一種 切

尾州より来り実より春月芽を生じ葉は菱に似て小き
刺生し節々根を生じ秋月葉の回し実を結ぶ形ちりり小
似たり又あり乃ち小似たり菱角より大に異なり食つ
り



艾實

之々々々々々和名本草

之々々々和名

之々々々和名

ソソソソソソ波

ソソ仙

茗

本草和名引
崔島錫食經

茗

曰書引
玉篇

陰腹腸

天門精

天禹曜

曰書引
大清經

天川虫

同書仙服
引神頤方

雁膳

雅通

鳧頭

正字
通

菱第

名物
方言

雁咏實

三才
因繪



水陸丹

明茨

湖茨

西湖
志

雞頭實

救荒
本草

茨實

武州本根川下總州中山邊の水澤中ハ生れ葉ハ蓮ハ似て大サ三四尺初生嫩然ハ水面ハ浮ハ面深緑色光澤あり刺多シ背ハ紫色ハツレテ節球高ク起リハ四指ハ長ク互ハ葉ハ半管ハの如クヤレテ取ハケルハ長短ハ水の深淺ハツレテ葉上ハツレテ此草をトリ食ハハ正字通ハ藕稍菜ハと名ハツハ中細竅あり下蓮莖ハ同ハ根ハハ鬚ありハ藕の如クありハ花ハ六七月花あり莖頭一葉あり其葉四クツレテ刺多ク上尖リ同ク時ハ四辨肉紅紫色鳥の嘴ハ似ハテ其林漸ク大ウあり二三寸熟ハテ中ハ數十子あり形蓮子の如ク黃褐色ヤレテ小ク正田あり大サ豌豆の如ク殼ハ去ハレハ中ハ白肉あり此茨實あり

烏芋

くろくろひ きんりの州 びんり上同

あかぢ仙臺

蒲蔴通雅

芋蔴本怪

水芋本草知名

王銀同書引 雜要談

鐵勃臍本草

烏芋ハ水沢中ハ生れ苗葉燈心草ハ似て大ハ莖葉ハ似ハテ細瘡頭尾簡尖リツレテ四ハ中空ヤレテ白蠟の節あり色深光夏月穂ハ生れ黒色白葉あり長サ二寸余根ハ鬚あり秋ハ至ハツレテ銀鬚の毛ハ塊ハを生れハ慈姑ハ似て硬く皮黒色肉ハ生熟ハツレテ食ハス

本草綱目卷之七十六
六
農務居吉種坊



本草綱目
卷之七十六
六
農務居吉種坊



慈姑 おまの 和名 本草

くまの 和名 鈔

らりの

あろろの

はつらん 越前

地栗 鎮江 府志

大々 通雅 兼名



菲寶 上京 通

田酥 汝南 國史

煎搭草 救荒 本草

水慈菰 上月

本草区譜 卷之七十六 農務局百種

慈姑

水田に栽り葉の剪刀或は燕尾の如く一根叢生——夏月稀に花あり三瓣白色穂小枝を分て開く秋冬の間根傍に白根を土中へ延て末に塊を生じ四く——扁く青碧色やうくの芽あり長さ一寸許りの

一種 吸田くわいすのくわい

棋州吸田村より産する物なり形状慈姑と同じ夏月葉の間へ莖を抽て三枝に分つて花あり三瓣白色大さ五六七分黄緑色の莖あり根塊又同じ大さ指頭の如く長さあり正田の者あり

一種

をのりか 和名折小沢海と書すも誤り
エルヘンツトントド 和蘭

野慈姑

田野水中に生じ葉の慈姑に似て小なりして細く花又小なり

一種

やぶをむたか

花の形穂の如く白色葉あり——葉の野慈姑の如くして頗る肥なり前後共に根は小塊あり小指頭の如くして長——其大なるををりしといと稀にて賣味は苦し

一種

うらまか

池沢浅水中に生じ——葉の韭葉に似て短く夏月三枝を分ち花は野慈姑と同じ底——苗の形甜瓜の皮を堅くしきるに似て小——故に尾州うらまかといふ名つけ根塊はつめく小く吸田くわいといふ又小なり

本草綱目 卷之七十六 九 農務居種

一種 吸田々々



本草綱目 卷之七十六 九 農務居種

一種 野慈姑



一種
如魚山草



本草図説 卷之七十六 十一 農務月言 和

一種

くしかえ



附録諸果

甘鈕子 おうん丸くま

是物舶来之形胡桃に似て
皺ありて硬



本草図説 卷之七十六 十一 農務月言 和

木竹子

蒲桃
嶺南雜記



葡
桃
臺灣府志

香果
上司

香花果
中山實問



本草綱目卷之七十六

水竹子

近來琉球より来り葉長枝葉對生一高四五尺夏月枝の梢に五七花あり五
瓣淡綠色白花其長く形全絲桃びやうに似たり後実を結ぶ枇杷びやうに似たり大
小熟りれば黄色味ひ甘し肉中核あり枇杷びやうに似たり嶺南雜記に形如蠟
丸大如桃高丈余花間一族如針葉長寸許五月熟色青黄中虚有核如
彈丸搖之有聲肉鬆而甘なり

一種 物印に載り処四種

嶺南雜記に一種名香果形少圓長肉鬆甘香異常と云ふ物是なり

同上



本草区譜 卷之七十六 十三 岩稔居吉和坊

同上



同上

同上



樞子 ヒキユエ口ホルテ和蘭



物印此小載以
る所の物



本草綱目 卷之七十六 十一 農桑



簡子

物印托載了
所の物



本草綱目卷之七十六十一農務居言和切

本草図説

卷之七十六

十七

農務
石
音
和
坊

